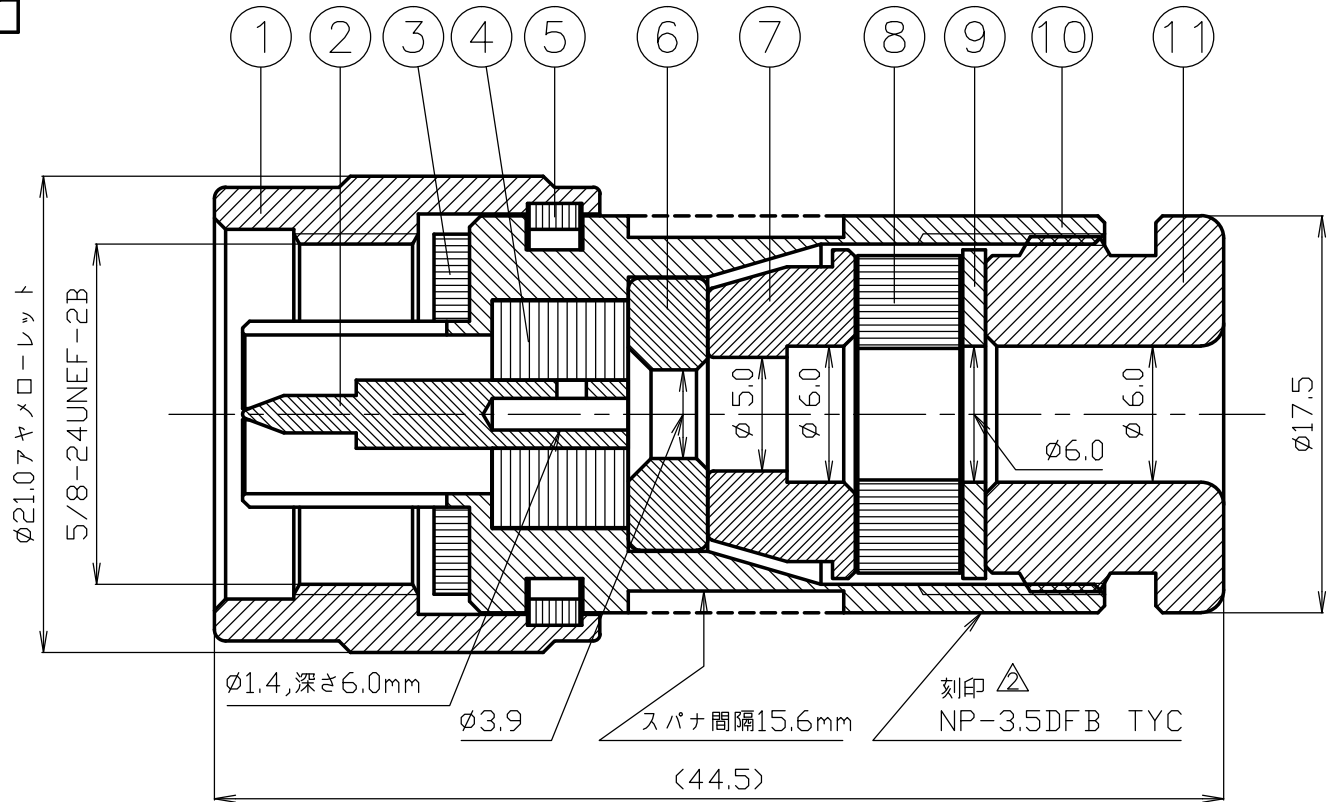
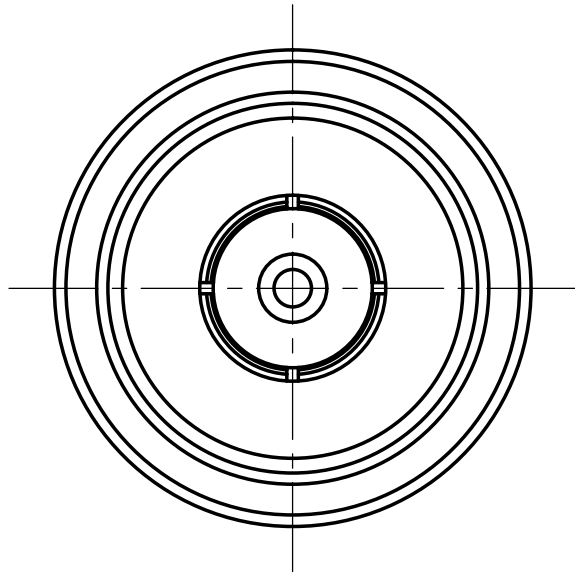


番号	変更・記事	日付	確認
△1	Sn → NI	97.03.04	済
△2	シール → 刻印	2006.05.02	済
△3	社名変更	2012.01.05	(本)
△4			



11	締付金具	黄銅	1	Ag	Ni仕様もあり
10	シール	黄銅	1	Ag	Ni仕様もあり
9	ワッシャー	黄銅	1	Ni	△
8	ガスケット	シリコンゴム	1	-	
7	クランプ	黄銅	1	Ni	△
6	ブッシング	黄銅	1	Ni	△
5	保持リング	リン青銅	1	-	
4	絶縁体	テフロン	1	-	
3	ガスケット		1	-	
2	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
1	接続ナット	黄銅	1	Ag	Ni仕様もあり
番号	部品名	材質	数量	処理	備考

尺 3/1	製 山	検 檜	承 山	認 中村	品 名 NP-3.5DFB
	'12.01.05	'12.01.05	'12.01.05	'12.01.05	
単 位 mm	口	澤	本	義	図 番 S-0510697
日付 '96.02.02	投影法	株式会社 トーコネ TO-CONN CO., LTD.			

仕 様 書

品 名 NP-3.5DFB

No. 0510252

図 番 S-0510697

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411 MIL C 39012
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 S-0510697)	異常のないこと
2			
3			
4	電 絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ 以上
5	気 耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	的 接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ 以下
7	特 電圧定在波比	周波数 3000MHzまで	1.2以下
8	機 互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9			
10			
11	械 ケーブル接続強度	軸方向引張力 98N以上	異常のないこと
11	特 結合部接続強度	軸方向引張力 約300Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
12	性 繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は 10mΩ 以下

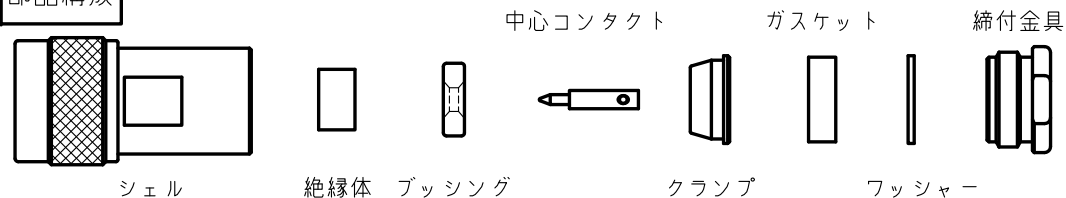
GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

NP-3.5DFB 取付仕様書

適合ケーブル 3.5D-FAV、3.5D-QEFV、3.5D-XFB \triangle

部品構成

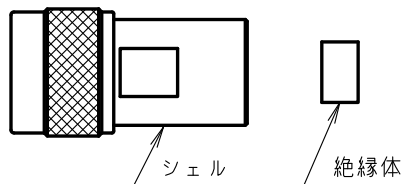


図番 S-0510697

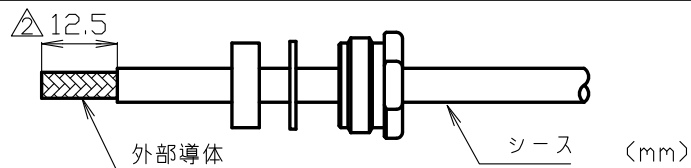


作成	確認

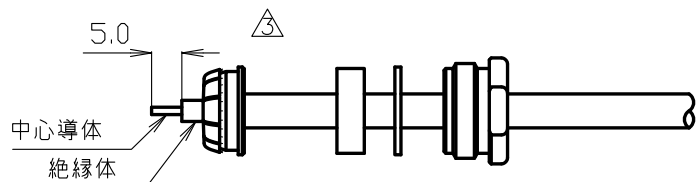
番号	変更・記事	日付
\triangle	社名変更	2012.01.05
\triangle	12.0 → 12.5 寸法変更、注記追記	2012.12.27
\triangle	寸法削除、箔表記・適合ケーブル追記	2012.12.27



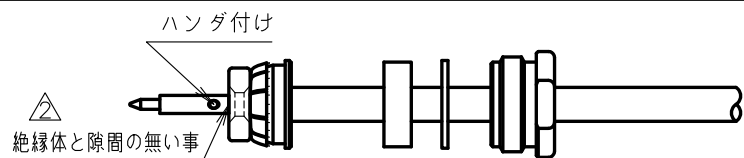
① シェルの中に、絶縁体を装着する。



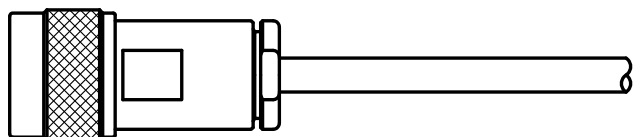
② 同軸ケーブルへ締付金具、ワッシャー、ガスケットの順に通し、シースを図中の寸法で切り取る。



③ クランプを装着した後、外部導体をほぐし折り返して切りそろえ、 \triangle 銅箔はたんざく状に切り、折り返し切りそろえて、絶縁体を図中の寸法で切取る。



④ 中心導体に中心コンタクトをセットし、ハンダ付けする。ハンダ付け後、絶縁体と中心コンタクトに隙間がないこと。その後、ブッシングを装着する。
* 中心コンタクトを手で軽く引っ張り、抜けないことを確認する。



⑤ シェルを装着し、締付金具をスパナ等で締め付けて作業を完了する。